

# やりの持ち込みについて

下記のとおり、検査に合格して持ち込みを許可されたやりは、「預かり証」を発行のうえ一括借り上げとなり、参加競技者で共有できるものとする。

<競技注意事項 10. 競技用具について>より抜粋

(1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、やりについては、通知した競技場備え付けの投てき用器具リストに無いものと、1個しかないものに限り、当日検査の上使用を認める。希望者は招集開始時刻20分前から招集開始時刻まで(混成競技は競技開始の60分前まで)に、TICで「用器具検査申請書」により申し出ること。ただし、検査に合格した用器具については、「預り証」を発行のうえ一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げた用器具は、競技終了後にTICで返却する。

## 1 検査時間

第2日 7月30日(土) 女子やり投 予選1組 8:30～ 8:50

予選2組 10:50～11:10

決勝 15:50～16:10

男子八種競技やり投 競技開始60分前

第4日 8月 1日(月) 男子やり投 予選1組 8:30～ 8:50

予選2組 10:50～11:10

決勝 15:50～16:10

女子七種競技やり投 競技開始60分前

2 検査場所 検査所(TIC テント内)

3 手順 ①所定の時刻までに申請場所(TIC)に用具を持参する。

②申請書を記入(予め記入したものを提出するの也可)

→ 預かり証を受領する。

③「検査合格」の場合 → 競技場所に出る

「不合格」の場合 → その場で返却

④競技終了後 → TICにて預かり証と引き替えに返却

※予選1組、予選2組ごとに返却する。決勝進出者は改めてTICに検査申し込みをすること。

ただし、予選1組2組通して槍を使用したい場合はその旨をTICへ伝えること。

※借り上げたやりが破損した場合、主催者側は一切の責任を負いませんのでご了承ください。